

教育研究評議会議事録

日時：令和4年6月21日（火） 13：30～14：15（議題1～議題6）（報告1）
15：15～15：30（議題7）

会場：web会議により開催

出席者：別紙のとおり

第1 審議事項

1 研究を目的としたフリークォーター制（FQR 制度）の全学的実施について

研究を目的としたフリークォーター制（FQR 制度）の全学的実施について審議し、議決した。

なお、以下のような意見があった。

- ・従来のサバティカル制度と FQR 制度をどのように両立させていくことになるのか。
→サバティカル制度は取得に7年間の在籍が必要となり、再取得するためには更に7年間の在籍が必要であるが、FQR 制度は基本1年間に3か月程度研究に集中する期間として毎年の取得が可能。サバティカルを1年取得した後、次の7年までの間に FQR 制度の利用も可能。
- ・工学研究院で実施されているなかで問題点があれば教えて欲しい
→特にはないが、教員が利用しやすいよう月単位、週単位で取得できるように工夫している。4年間に一度は FQR 制度を利用できるように教員各自で計画的に研究していただくようにしている。
→大学としては1年に3か月間取得することとしているが、まずは柔軟な対応で構わないので各部局で導入してほしい。できる限り実施できる体制になるようにご協力をお願いしたい。

2 九州大学テニュアトラック制に関する規程の制定について

九州大学テニュアトラック制に関する規程の制定について審議し、議決した。

3 第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書（案）について

平成28～31年度の中期計画に関する自己点検・評価の結果に基づき作成した「第3期中期目標期間（平成28～31事業年度）に係る業務の実績に関する報告書」について審議し、議決した。

4 中期目標の達成状況報告書（案）について

第3期法人評価（4年目終了時）で、評価機関である（独）大学改革支援・学位授与機構に提出する資料のうち、「達成状況報告書」について審議し、議決した。

5 令和5年度概算要求について

文部科学省へ提出する令和5年度概算要求事項について審議し、議決した。

6 学内規則の改正等について

学内規則の改正について審議し、次のとおり議決した。

- ・高等学校卒業程度認定審査規則の施行（令和4年4月1日）に伴い、大学への飛び入学者について、

大学での単位の修得状況を基に、文部科学大臣が高等学校卒業者と同等以上の学力を有することを認定する制度（高等学校卒業程度認定審査）が創設された。

この創設により、学校教育法施行規則が改正され、当該審査の合格者が大学入学資格を有する者として加えられたことに伴い、学部通則を一部改正すること。

7 ハラスメント苦情申立に関する調査結果について

<非掲載>

第2 報告事項

1 教員の懲戒処分について

教員の懲戒処分について報告があった。

2 国立大学協会総会について

6月14日開催予定の国立大学協会総会について報告する。

3 役員会について

令和4年5月23日から令和4年6月20日までに開催された役員会の審議事項等について、資料配付による報告があった。

4 国際交流協定の締結等について

大学間交流協定の新規3件、更新8件、部局間交流協定の新規5件、更新14件、終了5件、ダブル・ディグリープログラム協定の更新1件について、資料配付による報告があった。

（ 以 上 ）